産業・生業の再生に向けての 復興庁の主な取組

平成28年12月17日





- 1. 産業連携による産業復興の取組
 - 1-① 地域復興マッチング『結の場』
 - 1-② 被災地域企業新事業ハンズオン支援事業
 - 1-③ 専門家派遣集中支援事業
- 2. 特定分野ハンズオン支援事業 (販路開拓)
- 3. 輸出拡大モデル事業
- 4. 交流拡大モデル事業

1-① 地域復興マッチング 『結の場』 ①



【経営課題(例)】

- 新商品の開発手法がわからない
- 施設は復旧したが、販路がない
- 企画立案担当者などの担い手不足

課題 相談

ワークショップ

において検討

マッチング

大手企業等

提案

【支援提案(例)】

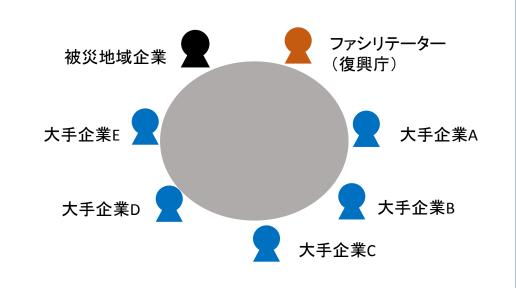
- 自社ノウハウやアイデアの提供
- 社内販売、社員食堂等での販売機会 提供
- ・人材育成支援・研修プログラム提供

連携事業の創出

ワークショップのイメージ







- ・被災地域企業は課題等を紹介
- ・大手企業は課題を聴取したうえで、 課題解決にむけた提案を検討。

1-① 地域復興マッチング『結の場』②



【ワークショップ開催地】

	開催日	開催場所	地域企業		マッチング件数
第1回	H24.11.28	宮城県石巻市	13社	35社	24件
第2回	H25.2.13	宮城県気仙沼市	10社	33社	26件
第3回	H25.11.7	宮城県南三陸町	6社	21社	5件
第4回	H25.12.4	宮城県亘理町	6社	19社	6件
第5回	H26.1.29	岩手県宮古市	6社	26社	13件
第6回	H26.2.6	福島県福島市	8社	26社	25件
第7回	H26.12.9	福島県南相馬市	8社	28社	16件
第8回	H27.1.22	宮城県多賀城市	7社	29社	7件
第9回	H27.2.5	岩手県大船渡市	9社	26社	14件
第10回	H27.2.13	宮城県気仙沼市	9社	26社	12件
第11回	H27.10.1	福島県会津若松市	9社	22社	21件
第12回	H27.10.7	岩手県久慈市	10社	27社	19件
第13回	H27.11.26	宮城県女川町	7社	36社	17件
第14回	H28.2.5	福島県広野町·楢葉町 富岡町·川内村	9社	27社	15件
第15回	H28.9.7	岩手県釜石市	7社	22社	_
第16回	H28.9.8	岩手県山田町	8社	17社	_
第17回	H28.11.8	福島県相馬市	7社	24社	_
第18回	H28.11.14	宮城県東松島市	8社	29社	_ 4

1-① 地域復興マッチング『結の場』③



【主な成果事例】

地域材利用拡大対策事業に向けたコラボレーションプロジェクト

支援提案企業 (株)イト―キ



被災地域企業(久慈市)

【被災地域企業が抱えていた課題】

地元木材の南部アカマツを活用した製品の販売強化や、 住宅業界以外への進出などを検討していたが、販売手 法やマーケット事情が把握できず、販売が伸び悩んで いた。

【マッチングプロジェクト内容】

東京オリンピック・パラリンピックに向け開発整備が進む「公共施設向け大型ロビーチェア」の開発に取り組み、林野庁補助事業への採択に至った。

商品名「iVas」(ラテン語で植物の「導管」を意味する)としてオリパラ・インバウンド需要に向け、駅、空港、ホテル等の公共空間をターゲットに販売予定。



南部アカマツを使用したロビーチェアの試作品

1-② 被災地域企業新事業ハンズオン支援事業①



復興庁職員自らが被災地域で新たな事業にチャレンジする企業に対して、具体的な実務支援(ハンズオン支援)を実施。

【支援イメージ】

被災地で新事業立ち上げ を目指す中小企業 + (被災地内外の提携先企業)

ハンズオン支援

民間企業出身の職員、 シンクタンク、専門家 等

ハンズオン支援の例

- ①事業計画の策定
- ③新たな販路や事業パートナーとのマッチング
- ②市場調査・競合品調査・製品評価等の実施
- ④試作品製作費・展示会出展費・専門家謝金等、 事業立ち上げに必要な経費の一部負担

【支援件数】※26年度までは「企業連携プロジェクト事業」

24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
7件	7件	10件	15件	10件

1-② 被災地域企業新事業ハンズオン支援事業②



【平成27年度の支援事業(岩手県内)】

事業名	市町村名	主たる事業主体	事業概要
健康機能性アカモク産業化 事業	山田町	岩手アカモク生産 協同組合	海藻アカモクの新規工場の設立を検討している事業者に対し、事業の採算性の評価や事業計画・財務計画の策定、必要資金の調達先の確保を支援するとともに、2016年度以降の新規工場の着工、操業開始に向けた課題整理を支援した。
伝統的工芸品「岩谷堂箪 笥」の製造技術を活用した 「岩谷堂くらしな」製 品の生産・販売体制検討事 業	奥州市	岩谷堂箪笥生産協 同組合	伝統的工芸品の製造技術・技法を生活日用品に活かした新ブランドを柱にすべく模索していた事業者に対し、新ブランド事業の位置づけの明確化やマーケティング手法の見直し、生産体制の見直しを支援し、2016年度以降の新ブランド事業の課題を整理した。
三陸産原材料を活かした新 商品開発・販路開拓事業	大船渡市	森下水産株式会社	新規に一般消費者向け事業 (B to C事業) を計画していた事業者に対し、 B to Cマーケティング手法を導入した商品開発、販路開拓からプロモー ションまでの営業支援を行うとともに、消費者調査により新商品の課題を 抽出し、次年度以降に向け改良提案した。
販路回復・拡大のための衛 生管理マネジメント構築事 業	大船渡市	サンコー食品株式会社	食の安心・安全・高品質への顧客ニーズの高まりを受け、業務用の水産原材料加工を担う自社独自の衛生・品質管理への取り組みを見直し、専門家の知見を活用した衛生・品質管理改善マネジメントシステムの構築を実施した。

【平成28年度の支援事業(岩手県内)】

事業名	市町村名	主たる事業主体	事業概要
「潮騒の一夜干し」マーケ ティング調査と販路拡大	久慈市	有限会社北三陸天 然市場	食塩の使用量を抑え、ハーブなどを使って保存性や食感を向上させた、 高付加価値商品としてのブランディング、販路開拓を支援する。
商店街の力を結集した新規 事業への取組み	山田町	新生やまだ商店街	商店街組合員のそれぞれの強みを生かし、山田町ならではの冠婚葬祭事 業等の新規事業を立ち上げる。
水産加工商品の開発	釜石市	有限会社ヤマキイ チ商店	生鮮品の柱である「泳ぐホタテ」に肩を並べる新商品として、非日常的 なコンセプトでの水産加工商品を開発する。

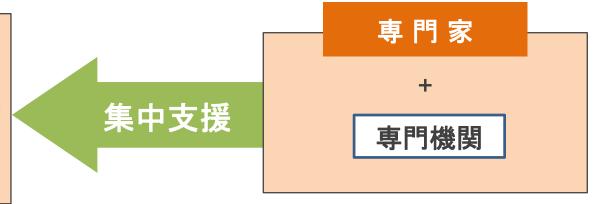
1-③ 専門家派遣集中支援事業



被災地で新たな事業を立ち上げる企業(被災地域内外)やまちづくり会社設立を 検討中の協議会等に対し、<u>専門家・専門機関</u>が、市場調査等の集中支援を実施

被災地域企業等

- 〇新商品・サービスの開発
- 〇既存商品の高付加価値化
- 〇生産性向上:効率化
- 〇商業施設開発



集中支援の具体的な内容

- ・専門家による調査・分析と経営者との面談に基づく改善提案(プロデュース支援)
- ・調査、評価、試験販売、販促活動等の外部専門機関の能力活用 (アウトソーシング)
- ・専門家による継続的な助言、指導、実務支援(ハンズオン支援)
- ●被災三県の新事業21件に対して支援実施。うち岩手県内では7件に対して 実施(平成27年度)。

2. 特定分野ハンズオン支援事業 (販路開拓) ①



STEP1



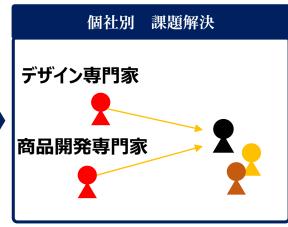
- ・セミナー受講後、意欲関心の高い企業の選定
- ・受入体制が整っている企業の選定

STEP2



・商品開発、ブランディング、パッケージなど 個社別の課題の確認

STEP3



- ・課題解決のための専門家派遣
- ・試作品開発、パッケージデザインなどの実施

1st GOAL (or条件)

プロモーション・販路拡大

都内主要駅



百貨店フェア・催事



企業マルシェ





2nd GOAL

- ・1st Goalで経済団体等の会員企業を含めプロモーション、販路拡大を図る。
- ・2nd Goalでは、STEP3で支援を行った商品を中心に常設・恒常的販路の獲得を図る。

2. 特定分野ハンズオン支援事業(販路開拓)②



セミナー、ワークショップ開催(平成28年10月12日、岩手県大船渡市)



大船渡エリアにおける販路拡大をテーマに、セミナー 及びワークショップを開催。

セミナーには被災地域企業社21社23名、ワークショップには被災地域企業社7社7名が参加。

セミナー風景



個々の事例について出席者全体で討議(ワークショップ)

主催:

復興庁、大船渡商工会議所

協力:

岩手県沿岸広域振興局、オリンピック・パラリンピック 等経済界協議会

講師:

山田英司氏(山田英司事務所所長 営業設計コンサルタント)

水野寛子氏 (株ジェイアール東日本商事 地産品ショップ 『のもの』バイヤー)

2. 特定分野ハンズオン支援事業(販路開拓)③



【1st Goal (プロモーション) 】 三陸のものマルシェ (平成28年12月15日~17日 上野駅)



3. 「新しい東北」輸出拡大モデル事業



事業の目的・概要

被災地における輸出拡大モデルの構築等の先進的な取組を支援し、水産品・水産加工品を中心とした被災地産品の輸出拡大の推進を図る。

<u>主な岩手県内での取組</u>

「北三陸」の世界的地域ブランド化を目指したウニ加工品の開発と検証

(~北三陸世界ブランドプロジェクト実行委員会~ 岩手県九戸郡洋野町)

北三陸産のキタムラサキウニを用いた商品開発及び台湾・香港に対するマーケティングを行う。

【これまでの主な実施取組の内容】

①北三陸産のキタムラサキウニを用いた 商品開発

ウニの鮮度を保ちながら輸出する保存方法 やウニ殻の有効利用などを検討。

②台湾・香港への北三陸産のキタムラサキ ウニのマーケティング

マーケティング用のパンフレット制作750枚(台湾350枚、香港400枚)



マーケティング用パンフレット

4. 「新しい東北」交流拡大モデル事業①



- 東北への外国人の交流人口拡大につながる民間の新たなビジネスモデルの立ち上げを支援。
- 4月15日に取りまとめられた東北観光アドバイザー会議の提言を踏まえ、のべ約70件の提案の中から、13の提案を選定。
- 約1年間に渡って、旅行商品の開発、流通の仕組みの構築、プロモーションなどに取り組み、我が国の観光を牽引する民間企業各社と復興庁が総力を挙げ、東北の観光復興に取り組む。

Tohoku Snow Brandの構築

1. 冬の東北「樹氷; TOHOKU SNOW MONSTER」ブランドの商 品展開 (福島民報社(東北七新聞社協議会幹事社))

インターナショナルスクールや留学生との交流機会の創出

- 2. 東北在住の留学生と作る「Go!Go!Tohoku!!」ブランド (仙台放送)
- 3. インターナショナルスクールのための、日本の原体験修 学旅行 (オリコム)

Local Experience(地域との交流)

- 4. 「東北と海外をつなぐ」着地型旅行商品流通モデル (ダイヤモンド・ビッグ社)
- 5. 東京のホステルからの欧米人バックパッカー送客 (サンフロンティア不動産)
- 6. 「宿泊×自転車シェア」東北のグリーンサイクリング (NTTドコモ)

新たな販路へのアプローチ

- 7. 東北路(TOHOKURO)プロジェクト (アール・ピー・アイ)
- 8. 欧州サプライヤー事業者向け東北ツアー

(ミキ・ツーリスト)

スポーツイベントの活用

9. スポーツイベントエントリーをセットにしたツアーの展開 (東武トップツアーズ)

個人向けツアーの展開

- 10. 鉄道PASSで途中下車観光(びゅうトラベルサービス)
- 11. 東北TOMODACHIプロジェクト一特別な体験でFITの聖地に一(近畿日本ツーリスト)
- 12. タイ人向け個人型パッケージツアーの展開

(エイチ・アイ・エス)

13.「東北美人へ変身する旅」東北域内周遊型旅行創出事業 (JTB東北)





4. 「新しい東北」交流拡大モデル事業②



7. 東北路(TOHOKURO)プロジェクト(アール・ピー・アイ)

韓国人旅行者の"東北への集客"を目指す 旅館予約サイト『TOHOKURO(東北路)』を開設(12月1日) URL: http://www.tohokuro.com

TOHOKURO(東北路) サイトイメージ



이키카에리노야도 타키나미 いきかえりの宿瀧波

900년 역사의 온천수 '아카유 온천'을 카케나가시로

최저가 1인2식 14,000엔~ 예약하기 >

	온천명	아카유 온천
alls	수질	함황 황 나트륨 칼슘 염화물 고 온천
	효능	베인상처, 화상, 류마티스, 만성부인병, 만성피부병, 위장병

4. 「新しい東北」交流拡大モデル事業③



「新しい東北」交流拡大モデル事業 PRセミナー

インバウンドに興味を持つ事業者等を対象に、外国人旅行者への情報発信について考えるPRセミナーを開催。

開催日;

平成28年12月5日(月) 宮城県仙台市 平成28年12月6日(火) 秋田県仙北市

講師:

- ・ルース・マリー・ジャーマン((株)ジャーマン・インターナショナル代表取締役)
- ・小太刀 みちえ (訪日外国人向け動画情報サイト「YummyJapan」代 表取締役)
- ・河村 建磁 (IGRいわて銀河鉄道(株)銀河鉄道観光)
- ・安藤 大輔 ((株)安藤醸造 代表取締役社長)

